

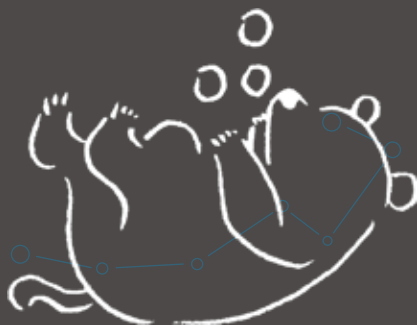
札幌みらい塾2017

ACFアートサロン in わくわくホリデーホール

Sapporo Poetry Summit 2017

詩

歌



山田航

×

文月悠光

×

三角みづ紀

11 / 7 (火) 18:30 Start

— 18:00より、開場

<会場>

わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)2F → 第1会議室
札幌市中央区北1条西1丁目

<トークと朗読>

○文月悠光・詩人 ○三角みづ紀・詩人 ○山田航・歌人

<料金>

一般 → 1,500円 学生・ACF会員・V-net会員 → 1,000円

*前売券はローソンチケット Lコード:11970 電話:0570-084-001

及び、大丸プレイガイド電話:011-221-3900で販売

※メールでご予約の方は当日精算(学生証、会員確認)となります。

【ご予約・お問合せ】

ACF札幌芸術・文化フォーラム 札幌市中央区南3条東2丁目MUSEUM内

電話&FAX:011-596-7752 メール:sapporoacf@gmail.com

公式サイト:www.sapporoacf.org/

主催|ACF札幌芸術・文化フォーラム/大和リース(株) 後援|札幌市 協力|さっぽろアートボランティア・ネットワーク(V-net)

Sapporo Poetry Summit 2017



三角みづ紀

×

文月悠光

×

山田航

詩歌の超星たちがサッポロに集結します。サッポロを縁にした奇跡の邂逅。ここサッポロでしか実現できない三人のトークが繰り広げられます。詩と短歌、それぞれ言葉の海を進む三人が世界につながってきます。北極星の語りをお聞きください。

文月悠光さんは札幌で高校卒業まで暮らしました。三角みづ紀さんは今年札幌に移住しました。山田航さんは札幌生まれで在住しています。

全国が注視する三人がトークとそれぞれの作品の朗読もおこないます。それぞれの作品と人柄を身近に感じてください。

2017年11月7日(火)
18:30 START

@わくわくホリデーホール
(札幌市民ホール)2F → 第一会議室
札幌市中央区北1条西1丁目

ACF札幌芸術・文化フォーラムとは

創造都市さっぽろの芸術・文化の未来を拓こうと、2007年春に市民有志が立ち上げた団体。市民と芸術家そして行政、企業を結ぶネットワークを形成し情報を発信しています。市民の協働による 芸術・文化のあふれるまち作りを目指す。



みずみ・みづき
【三角みづ紀】



詩人。1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で第10回中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞と歷程新鋭賞を受賞。執筆の他、朗読活動も精力的に行い自身のユニットのCDを2枚発表し、多くの国際詩祭に招聘される。第5詩集『隣人のいない部屋』で第22回萩原朔太郎賞を最年少受賞。美術館での展示や作詞等、あらゆる表現を詩として発信している。2017年9月、初のエッセイ集『とりとめなく庭が』をナナログ社より刊行。



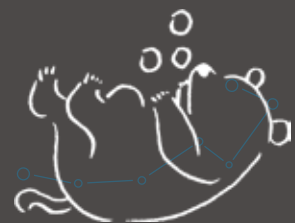
ふづき・ゆみ
【文月悠光】

撮影・森野千聖

詩人。1991年北海道札幌市生まれ。中学時代から雑誌に詩を投稿し始め、16歳で現代詩手帖賞を受賞。高校3年の時に出した第1詩集『適切な世界の適切ならざる私』で、中原中也賞、丸山豊記念現代詩賞を最年少の18歳で受賞。早稲田大学教育学部在学中に、第2詩集『屋根よりも深々と』を刊行。2016年に、初のエッセイ集『洗礼ダイアリー』(ポプラ社)、第3詩集『わたしたちの猫』(ナナログ社)を刊行。ウェブマガジン「cakes」でエッセイを連載中。NHK全国学校音楽コンクール課題曲の作詞、詩の朗読、書評の執筆など広く活動中。



やまだ・わたる
【山田航】



歌人。1983年札幌市東区生まれ、在住。歌集に『さよならバグ・チルドレン』『水に沈む羊』。近刊は言葉遊びエッセイ『ことばおてだまジャグリング』。北海道新聞にて「モノログ紀行」連載中。